

会議の名称	第3回 加東市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定委員会
開催日時	平成29年7月3日（月） 午後1時30分から2時50分まで
開催場所	社福祉センター 2階 レクリエーション室
委員長の氏名（藤原国弘） 出席委員の氏名	森下智行 藤原国弘 武田卓也 野瀬 光 山口雅隆 荒尾洋明 竹内貞美 田中敏明 神戸三男 西田俊哉 長田瑞穂
説明のため出席した者の職氏名	
出席した事務局職員の氏名及びその職名	福祉部長丸山芳泰 高齢介護課 課長藤井康平 看護課長熊谷麗子 看護課長藤本英子 副課長平野好美 副課長高濱さおり 主幹三和田剛浩
議題、会議結果、会議の経過及び資料名	<p>1 開 会</p> <p>2 挨拶</p> <p>3 議 事</p> <p>議事録署名人に、荒尾委員及び竹内委員を選任</p> <p>(1) 第7期介護保険事業計画の基本指針について 【説明資料－1】 事務局から説明資料1に基づき説明 委員長：説明ありがとうございました。何かご質問ございますか。 なければ、次に移らせていただきます。</p> <p>(2) アンケートおよび団体ヒアリング結果について 【説明資料－2】【説明資料－3】 事務局から説明資料2、説明資料3に基づき説明</p> <p>委員長：ありがとうございました。ご質問等ございませんか。 【質疑】 委員：主な介護者のところで、少し男性が増えてきているのかなというところや、クロス集計で、例えば男性が増えていることにかかわって、64ページの介護者が不安を感じる介</p>

護で、男性が不安に思っているものというのが出ているのかなどが、わかればお答えください。また、それに当たって家族の支援という柱が出てきておりますので、その辺で少しアプローチできるのかなと思います、いかがでしょうか。

事務局：男性介護者にスポットを当ててという結果については、手元に資料はないのですが、確かに今後そういうことも、男女の違いなどもありますので、男性ならではの困り事とかが出てくるかどうか、データの確認をしていきたいと思います。ありがとうございます。

委員長：ありがとうございました。ほかに何かございますか。

委員：1ページの回収状況のところ、配布数と有効回答数とあります。配布が2,000で一般高齢者と要支援認定者、合わせて2,000なのですね。要支援者の方は全員にお渡ししているのですね。

事務局：そうです。

委員：一般高齢者については無作為抽出なのですね。

事務局：そうです。

委員：そうすると、無作為抽出をするときに3地域の人口割か何かを考えられたのでしょうか。

事務局：偏らないように、年齢も圏域も平均をとれるように無作為で抽出しました。

委員：その地域とは、社と滝野と東条ということですね。

事務局：そうです。

委員：わかりました、ありがとうございます。

委員長：ほかに何か質問ございますか。特にないようですので、3番目の議事に移らせていただきます。

(3) 加東市高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画の評価について

【説明資料-3】

事務局から説明資料3に基づき説明

委員長：ありがとうございました。それでは、今の説明について何か質疑ございますか。

委員：先ほど要支援1、2が減少したということですが、減少することによって介護保険料が低くなるというふうに思います。その要因につきましては、まちかど体操や認知症の予防などを非常に進められていますけれども、そのような要因が、このような減少につながったと私は思っているのですが、その辺はどうでしょうか。

事務局：確かに予防の事業でも、なるべく元気な状態が長く続くようにと、地域で取り組んでいただいている教室の成果もあるかと思えます。それと、先ほど説明させていただきました、総合事業において、要介護認定を受けなくても通所介護や訪問介護のような今

までと同じようなサービス、もしくは緩和されたサービスを受けるような仕組みに変わってきているというところもありまして、要支援1、2の認定を受ける方全体が、それによって少なくなってきたことも1つだと分析しております。

委員長：ほかに何かご質問ございますか。

それでは、質疑もないようですので、おおむね、この方向で、取りまとめをお願いいたします。それ以外に全体について、何か質問等がございますでしょうか。

委員：アンケートとヒアリングをするのに、わざわざ日常生活圏域の社、滝野、東条と分けていますね。アンケートも、全体以外にその3つを出していますね。分けた意味と申しますか、各地域の差があり、例えば交通手段がないから、そこに新しい何か資源をというようなことを考えていらっしゃるのでしょうか。例えば、買い物を望んでいる、東条の方は望んでいる人が多いとかという、そういうわざわざアンケートを3圏域に分けた意味は何かあるのでしょうか。

事務局：もともと国の日常生活圏域の調査ということで組み立てられているものを元に、加東市でも調査をさせていただきました。圏域ごとに、どういった傾向があるかということで、先ほど説明させていただいたように今後分析をしていきますが、市全体の計画ではありますので、ここの圏域に特化して何かサービスを今からつくるということになるのか、そこは生活支援体制の整備事業との絡みもあります。ここの圏域は、こういうことが必要だということを並行しながら検討しますが、計画としては市全体の大まかな方向性というのは、まとめていこうと思っております。

委員長：ありがとうございました。ほかに何かご質問ございますか。

それでは、本日の議事を終了させていただきます。ありがとうございました。それでは事務局に進行をお返しをいたします。

4 閉 会

29年 8月 9日

委員長

藤原 国弘



署名人

荒尾 洋明



署名人

竹内 真美

